

10. 賑わいのある歩いて楽しい鳥居松の創造

メイクアップ鳥居松2001
(愛知県春日井市)

1. 活動の背景と目的

(1) 背景



県道沿いにある鳥居松広小路商店街

春日井市は、太平洋戦争のさなかである昭和18年6月1日に市制を施行し、勝川町、鳥居松村、篠木村、鷹来村の4か町村が合併し、鳥居松工しょう、鷹来工しょうを擁する軍需産業都市として誕生しました。

しかし、終戦により、復興を図るため農業の奨励や工場の誘致に努め、内陸工業都市として歩み始めました。

昭和33年1月には、新市町村建設促進法に基づき、高蔵寺町、坂下町と合併し、人口7万人余、面積93.03ha(平成2年に92.71haに変更)の都市となりました。

昭和30年代後半には、土地区画整理事業の推進、高蔵寺ニュータウンの建設が始まり、この頃から住宅都市としての性格が強まってきました。このため、良好な居住環境の形成に重点を置いたまちづくりを進め、現在、人口29万人余を擁する中部圏の中堅都市として「健やかな暮らしに活力あふれるまち春日井」を将来像に掲げ、その実現に向けたまちづくりに取り組んでいます。

鳥居松地区は、市役所を中心とした半径1kmの円を基本とした区域であり、中央を東西に県道が、その北側約400mを国道19号が平行して走っており、南端にはJR春日井駅が位置しており、区域の面積は約246haとなっています。

本地区は、古くから本市の社会経済活動の中心として栄え、賑やかなまち並みを形成していた地区であり、市役所をはじめ、文化フォーラム春日井などの文化施設や公共公益施設が数多く立地するとともに、いち早く土地区画整理事業等により都市基盤整備が進められてきました。

しかし、急速なモータリゼーションの進展や郊外型大型店の進出などにより、まちの活力の源泉となる商業機能は低下しており、かつての賑わいは薄れ、まちの空洞化が進みつつあります。

こうしたことから、市では、今後高齢化が進むなか、地域の人が安心して快適な日常生活が送れるよう生活基盤の整備をさらに推進するとともに、魅力ある中心市街地として、賑わいのある楽しいまちづくりを進めるべく各方面にわたる市民の意見をとり込んだ鳥居松地区の基本構想を平成12年度に策定しています。

(2) 目的

鳥居松地区の商業機能の低下は、まちの楽しみや賑わいをなくし、中心市街地の機能にも障害を与えるものであります。

これまで、“まちの賑わい”は、主にモノを売り買いする商業活動を軸に築きあげられてきましたが、今後は少子・高齢化、情報化などの時代の潮流に対応しながら、工夫を凝らした商業活動、活発な地区住民の活動などによって“まちの賑わい”を取り戻していくことが必要です。

鳥居松地区の中には3つの商店街振興組合があります。名古屋から中山道大井宿に至る下街道といわれた街道にある、昭和30年代には大変栄えていた鳥居松本通商店街、現在の県道一宮春日井線という生活幹線道路で市の主要な縦軸であり、市内で唯一アーケードのある鳥居松広小路商店街、そして3商店街ではもっとも区域の広いロードサイド型の鳥居松商店街であり、これらの商店街の区域は互いに隣接しています。

近年の消費者購買動向調査等によると、市内における鳥居松地区の年間販売額は、買回品・準買回品・最寄品・贈答品の全ての分野でシェアが確実に減少しており、こうした店舗数の減少や空き店舗の増加といった危機感から、これら3商店街が協力して鳥居松地区を活性化させようと平成12年2月に鳥居松まちづくり連絡協議会を発足させ、鳥居松花いっぱい運動や鳥居松にぎわいマップの作成などのスケールメリットを活かした事業展開を行っています。

この鳥居松まちづくり連絡協議会の会長の呼びかけに応え、平成12年度に市でこの地区の基本構想を策定した委員のメンバーが参画して、鳥居松地区の商店街の活性化に関する調査研究、情報提供等を行うことを目的としてメイクアップ鳥居松2001が結成されたものであります。メンバーは、商業者、大学教授、経営コンサルタント、市職員でスタートしましたが、会への参画は自由とし、より多くの方の参加を求めながら進め、大学生等からも意見・アイデアをいただき、活動を進めてきました。

II. 活動の内容

鳥居松地区の活性化には、商店街（商業）の活性化が不可欠であることから、商店街の活性化につながる情報誌と買物便利帳を計画していましたが、買物便利帳（周辺住民に鳥居松の商店の電話・取扱品等を1商店1ページにとりまとめ、冊子にし常備してもらうもので、公共公益施設や病院等の電話等も含めて掲載するもの）については、鳥居松まちづくり連絡協議会に提案するのみとし、情報誌（メイクアップ鳥居松）の発行（4回）を行うこととしました。

情報誌の発行に際しては、メンバーから意見を聞くとともに、地域の住民に関する情報も地方の方々から提供していただき、



鳥居松本通り商店街



鳥居松花いっぱい運動の様子



活動の拠点となっている鳥居松広小路商店街内の空き店舗を利用した施設「とりひろふれあい広場パレット」



取材の様子

掲載する記事の内容、表現方法、レイアウト等を協議するなかで“メイクアップ鳥居松”を作成し、周辺住民世帯に全戸配布するとともに、銀行、病院等市民が訪れる施設にも置かせていただき、商店街からの情報発信のみならず、地域の活動、イベント情報等を提供することにより、鳥居松地区の商店街の活性化に努めてきました。

Ⅲ. 活動の効果と今後の課題

約3か月に1回の割合で発行した「メイクアップ鳥居松」を鳥居松地区とその周辺の地区の人に配布したことにより、商店街のお店や店主の紹介や商店街の活動が地域の人々に周知でき、今までより身近に感じてもらえるようになったとともに、商店街のイベントでも商店主が連帯して実施することが増え、顔の見える商店街に一步近づけたと思っています。

また、市が策定した基本構想の概要を商業者のみならず地域住民に知らせることができ、協働のための基礎づくりにも貢献できたと考えています。

今後も郊外型大型店や他の地域にはない鳥居松の良さを探し、創り出して地域の人々に親しまれる商店街づくりを目指したいと考えています。ハウジングアンドコミュニティ財団の支援をいただき、1年間活動をしてまいりましたが、地域と歩む「人にやさしい賑わいのあるみんなのまち鳥居松」に一步でも近づけるよう、こうした活動を今後も続けていきたいと思っています。

「メイクアップ鳥居松 2001」
創刊号表紙

MAKE UP
鳥居松 2001
創刊号

—賑わいのある歩いて楽しい鳥居松の創造のために—
メイクアップ鳥居松2001ってなんだろう?

現在の鳥居松は昔と比べて変わりましたよね。

郊外型大商店の進出や車社会の進展・・

変わってしまったのは時代のせい？

四九車を昔に比べて、活気が失われているように思うのは気のせい？

まちの魅力がないせい？

NO! 地域の魅力を再発見しよう!

そこで、**今一度地域の魅力を再発見しよう!**
と鳥居松の商店主を中心に、大学の教授や経営コンサルタントなどが集まって
「メイクアップ鳥居松2001」
が発足しました!!

12/100